

株式会社フューチャースピリッツの久保と申します。本日は短い時間ですがよろしく
お願いいたします。

それではですねちょっと早速画面の方、共有させていただきます。はい。映ってますか
ね。

それでは始めさせていただきたいと思います。

先ほどですね、ITコーディネータの岡部様よりものすごく分かりやすく、DXのこ
とを解説していただきまして、ちょっと私も聞いてたんですけども、私の方からはです
ね、『『フォーム』で身近な業務を効率化』ということで、30分ほどお時間をいただき
まして、ちょっとご説明させていただきたいなと思っております。

今日はですね、運輸、卸売、福祉であったり広告デザインとか、様々な業種の方々が参
加していただいていると思いますので、少しでも日々の業務に役立つような情報をお伝え
できればなと思っております。

本日お伝えする内容はですね、明日からでもすぐに試していただけるような内容となっ
てますので、ぜひともご参考にさせていただきたいなと思っております。

それでは早速ですね、弊社のちょっと簡単にご紹介させていただきます。弊社、株式
会社フューチャースピリッツと申しまして、京都に本社を置いている会社となります。私
も今日京都の方からオンラインでつないでおります。

では簡単にちょっと事業のご紹介になります。サーバーホスティング事業、いわゆるレ
ンタルサーバーですね、AWSとかも構築提案させていただいてるんですけども、そ
ういったインフラからですね、マーケティングツールであったりウェブ戦略、企画、制
作ですね、そういったことをワンストップで提供しているような会社となります。また
海外の方でも事業展開しておりますですね、主にASEANになるんですけども、
現在中国、タイ、マレーシア、ベトナムで主に現地のデータセンターを利用してですね、
日系企業さん向けに、サービスの方を展開させていただいたりしております。

私なんですけれども、そのマーケティングソリューション本部というところでプラン
ナーをしております久保と申します。改めてよろしくようお願いいたします。本日の講演
でもご紹介させていただきます「フォームメーカー」という、SaaS型のフォーム作
成サービスを運用している事業の責任者しております。現在は主に事業のアライア
ンスであったりとかですね、広報の方をメインにいろいろ担当をしております。

それでは早速ですね、テーマの方に入りたいと思うんですけども、『『フォーム』で身
近な業務を効率化』ということで、私の方からはですね、このテーマでちょっとお話し
させていただきたいんですけども。

そもそも、なぜ業務効率化が必要なのかということなんですよね。先ほど、岡部様の方からいろいろお話あったと思うんですけども、今後もさらに少子高齢化進んでですね、労働人口も減ってマーケットも縮小していくっていう中でですね、少ない人数でもですね、今までと変わらないようなアウトプットを出していくとか、そういったことする必要があってですね、業務効率化とか、DX化とかって言われてることで生産性を上げていきたいと思いますと言われてるんですけども、先ほどご説明もあった通り、AIとかですね、IoTとか、そういったところで自動化を連想させるような、連想されるような方、結構いらっしゃるかなと思うんですけども、まずはですね身近な業務、そういったところをですね、すぐにでもITツールを活用していきましょうというのがですね、今日お伝えしたいテーマとなります。

で、業務効率化することのメリットですね。ここも先ほどご説明あった通りなんですけれども、生産性向上しますよねと。無駄をなくして効率上げてパフォーマンス上げていきたいと思いますということと、それによってコスト削減できますよねということですね。それによって、本来価値を生み出すようなことですね、新規事業企画であったりとか、そういったことに注力していきましょうという風な話になりますね。

我々もですね、業務効率化、DXとか、日々取り組んでいるんですけども、我々サービスを提供している中でですね、ユーザー様の問い合わせ業務とかもあるんですけども、日々そういったものを減らす工夫をしております。例えばそういったことで減らした工数をですね、その分サービスの機能追加とか、サービスの付加価値を上げることに使うことによって、日々、この業務効率化っていうことを行っております。

ではですね、そういったこと、メリットは分かっているんですけども、実際現場でですね、どこから手をつけていいかわからない。先ほどもお話あったと思うんですけども、いきなりちょっと業務システムとかですね、そういったところってやはりハードルが高いので、コストも結構かかってきます。

そこで我々からですね、まずご提案させていただきたいのが、Webフォーム化ですね。低予算でスタートしやすいWebフォーム化。

もうインターネット、スマホ、PC等の普及によってですね、このWebフォーム化も当たり前になってるんですけども、Webフォーム化したデータのやりとりですね、かなり増えているんですけども。主にショッピングカートとかですね、顧客からの問い合わせとか商品サービスの申し込みとかですね、そういったことがウェブサイトと同様にですね、プログラムで作成することができるんですけども。近年はですね、このプログラムをする必要はなくてですね、誰でも簡単に設置できる、作成して設置できるようなWebフォームツールというのが登場してきてます。

初めての導入に最適なWebフォームツールということで、MLホームとか言ったりもするんですけども、その仕組みの方をちょっと簡単にご説明させていただきますと、PCとかスマホに埋め込まれたフォームにですね、直接ユーザーさんがメッセージを送信できる仕組みですね。ユーザーさんとしてはメーラーを起動しなくていいので、気軽に問い合わせとかすることができますよね。その送信したデータがですね、例えば管理者に行って、データベースの方にも溜まっていくと。こういった仕組みがWebフォームの仕組みになるんですけども、このWebフォームツールというのはですね、この一連の仕組みを誰でも簡単にできるように構築された、そういったサービスのことになります。

例えば我々がですね、本日ご紹介するフォームメーラーというサービスもそうなんですけれども、これらを利用するメリットとしましては、プログラムなしに、簡単にこういったデザイン性の高いフォームが作れたりとかですね、あとは管理者にメールが届いたり見たりとか、そういうような管理がともしやすい。この2つがあるかなと思っております。

もう少し詳しく見ていきますとですね、Webフォームツールを活用するメリットとしましては、まず「管理の自動化・データ集計」、これが挙げられますね。データの集計やデータベースの作成、分析なども一括で行ってくれますので、集計された個人情報を分析することで、例えば顧客の属性であったりとか、興味関心など、そういったマーケティングに役立つ情報をつかむことが可能になります。あとは「安全なデータ管理」ですね。例えば先ほどもあったんですけど、紙のアンケートとか、そういったことをやってるとですね、やはり紛失による情報漏えいのリスクとかあるんですけども。Webフォームではそういった情報漏えいのリスクっていうのはかなり軽減されてきます。今データはですね、多くのビジネスの原動力になってきてるっていう一方でですね、やはり個人のプライバシーとかセキュリティの重要性も高くなってきてますので、そういった背景もあってですね、こういうセキュアなデータ管理っていうのは、当然のことながら重要視されていくんですけども、このWebフォームツールというのはですね、一般的にセキュリティ面が考慮されたサービス設計になっておりますので、安全な環境でのデータ管理というものが可能になって参ります。ですので、個人情報の取り扱いのリスクを心配せず業務効率化を図っていけると、そういったメリットがあるかなと思えます。

3つ目がですね、「データの有効活用」ですね。単にデータを集めるということだけではなくてですね、今後のマーケティングに生かせるような情報が蓄積できるという点が大きなメリットになります。Webフォームツールを利用してですね、顧客情報をデータベース化されて溜められるので、そのデータをですね、例えば外部のサービスと連携したりすることもできますので、例えばWebフォームで集めた申込書の情報の申込者に対してですね、後からメルマガを配信するとかですね、そういった顧客へのアプロー

ちとかってということにも活用ができます。

例えば今回ですね、今実施しているオンラインセミナーの申込みもですね、おそらく皆様はWebフォームで申込まれたと思うんですけども、そういった情報をですね、例えば今使ってるZoomとかっていうツールにインポートしてですね、そこからお客さんにご案内をお送りするとかですね、そういった様々な形でデータの連携というか、有効活用が容易になるといった点が挙げられます。

これらのメリットがあるWebフォームツールなんですけれども、どなたでも簡単にこういったものが作れるですね、しかも低予算で始められるという、我々が提供する「フォームメーカー」というものを、ちょっと少し紹介させていただきたいなと思っております。

簡単フォーム作成サービス「フォームメーカー」のご紹介ということで、少しサービスのご紹介をさせていただきます。サービスですね、もうメリット、ここに書いてある通り、まず金額です。初期費用なしの、月額1,250円プラス税から利用できて、フォームもそうなんですけれども、Webページも作ることができてしまいます。登録ユーザーは、ありがたいことに今40万超のユーザーの方々に使っていただきまして、個人事業主の方から中小企業、大企業、官公庁など、幅広くご利用いただいております。一部利用されてる方のロゴとかちょっと掲載してるんですけども、例えば埼玉県立大学ですね、埼玉県の方でも利用していただいております。あとですね、2018年に、総務省が後援するASPICという団体があるんですけども、そちらの方ですね、業務支援分野のクラウドサービスとしてアワードも受賞してますので、安心して利用していただけるサービスかなと思っております。

サービスの特徴はですね、簡単にフォームを作ってですね、ページをデザインして、公開してデータを集めます。このスリーステップをですね、簡単に行うことができるというのが特徴となります。

それではですね、この「フォームメーカー」を使ってですね、業務効率化できる活用事例というのをいくつか中心にご紹介させていただきたいなと思っております。

まずですね、総務部門でのご利用ということで、見ていきたいんですけども、例えば健康診断の申し込みですね。これ弊社でもあるんですけども、個別でメール対応されてるところもまだあるのかなと思っております、実は弊社もそうだったんですけども、全員に、個別にメールで案内をしてですね、受信内容を個別にメールで調整してですね、その受信内容をExcelに転記して、スケジュールを個別に調整していくと。それでまた最後に、個別にメールでご案内すると。なんかこういった工程を多分踏むと

思うんですけれども、これ考えただけでも、2、30人の規模の会社でも結構な業務になってしまいますよね。この業務ですね、改善ポイントとしてはですね、やはり個別メール対応によるスタッフへの業務負荷、これ改善したいですよね。あとはそういった煩雑な業務なんで対応ミスが出てくるような、そういった手法なんで、これもやはり改善したいですよねっていうところと、あとはそういう申込みの情報、データが貯まるんですけれども、それを後からメールだと分析ができないですよね。そういった改善ポイントがあります。で、例えばですね、簡単にこういったフォームを作っただけです。総務の方でも、どなたでも作っただけです。基本的にはドラッグアンドドロップの操作で作っただけで、溜まったデータはCSVで書き出すことができます。そういった仕組みを簡単に作るすることができます。「フォームメーカー」を利用することでですね、こういったメリットがあるかなと思うんですけれども、まず、あらかじめフォーマットを作成して、フォームで受け付けることで、入力者側も管理者側も手間を省くことができますよねということですね。あとは、溜まったデータをCSVで書き出せるので、後からExcelで集計することも簡単です。手間を軽減してミスをなくすることができますよね。また管理画面でデータを集計する機能もありますので、例えば今、社員の受診状況とかをですね、管理画面から見することもできます。あとはですね、一度フォーマットを作っただけで、フォームは複製することができますので、次回以降1から作る必要なくですね、複製して、ちょっと修正するだけで次も作ることができますので、こちらはかなり手間を省くことができるかなと思います。

このような業務効率化でできた時間も、ぜひ他の業務に充てる、クリエイティブな業務に充てることができるのかな、ということがメリットになるかなと思っております。

あとですね、総務の業務の他では、例えば社員向けに何かこう同意を取ったりするような、そういった形にも結構活用されてるケースがあります。同意書というと、やはり紙と郵送で対応するケースがほとんどなんですけど、社員さんも届いた書面に署名して捺印して返送するみたいな手間が発生するんですけれども、やはりそうすると回収率も落ちてしまいますし、何と言ってもやはり印刷代、輸送費用、これ、人数多いところは馬鹿にならないですよね。おそらくこういった身の回りに、Webフォーム化すれば改善できるような業務、結構山のようにあるんじゃないかなという風に考えております。

では次ですね、業務日報・アンケートになるんですけれども、こちらはですね、主に運輸業界の方で、結構利用されてるようなケースかなと思います。こういった業務日報ですね、やはりそのメールで1個1個書いてるとですね、自由フォーマットで記載するとやはり時間もかかりますし、ある程度決まっていればですね、項目化、フォーム化してしまえば、入力者の手間はかなり省けるんじゃないかなと思います。まああとスマホにも対応してますので、ドライバーの方とかでしたらもう、スマホがあれば簡単に入力

送信できるかなと思っております。管理者側もですね、必要な情報だけ収集できて、データとかCSVダウンロードできるので、集計や分析も簡単になりますよね、といったことが挙げられます。こういった業務ですね、やはりシステム化するとかっていうと結構大掛かりになっちゃったりしますので、まずはですね、こういう導入しやすい、Webフォームツールとか利用するだけで結構改善できたりしますので、ぜひ調整していただきたいなと思います。

次はですね、各種アンケートなんですよけれども、これ弊社で月1回全社会議というのをやってましてですね、そのアンケートにも使ってるんですよけれども、運営者側で簡単にこういうフォームが作れたりしますので、すごく時間削除できてるかなという感じなんですよけれども、集計結果もですね、先ほどもちょっとお伝えしたんですが、自動でグラフ化されますので、リアルタイムで、こういった状況になってるのかなみたいなを分析することもできますと。

あと、作成したホームがですね、QRコードに対応してますので、例えば飲食店様とかですね、まだ紙で、リアルでアンケート実施しているようなところも、簡単に置き換えていただくことできるかなと思いますので、ぜひ挑戦していただけたらなと思います。

それでは、次はですね、申込みフォーム、ランディングページの活用事例なんですよけれども。これウェビナー申込みのフォーム、ランディングページ出したんですよけれども、例えば今日もやってるんですよけれども、コロナ禍において、オンラインセミナーというのが一気に増えましたよね。ランディングページもですね、フォームメーカーを使えば、エンジニアとかですね、デザイナーに依頼することなく、担当で簡単に作成していただくことができます。これもですね、実際に弊社のグループ会社で先月実施したオンラインセミナーになるんですけど、私の方がですね、これ実は作成したんですよけれども。ちなみに私はデザイナーでもプログラマーでもないんですよけれども、このようなレベルであればですね、僕のような専門技術を持ってない方でもですね、簡単に作成することが可能になります。原稿とかね、構成とか考えたりとかっていう作業を抜きにすればですね、おそらく作業的な時間としては1、2時間もあれば、このレベルであれば、作成可能かなと思います。通常ですとですね、こういったページ作ろうと思うとですね、構成とか原稿作成して、制作会社さん依頼して、早くても2、3週間、それぐらいかかるのかなと思うんですよけれども、費用も結構、都内とかですとね、30万とか、高い金額ですと50万とかかかってくるんでしょうかね。そういった高額な費用とかもかかってくるんですよけれども、例えばこういう風なツールを活用していただくんですね、フォームメーカーですと初期費用なしで、月額1,250円なので、桁が2つほど違いますので、かなり節約ができますよねという話になります。あと個人的にですね、こういったものを作ってですね、例えば、やはり途中で修正とかね、入るんで、その都度自分でパッ

とできてしまいますので、トータルで結構時間とかコスト、大幅にカットすることができますんじゃないかなと思っております。

あと便利なところでいうと、やはりこういったフォームから送信される情報がですね、CSVで書き出すことができますので、実際にその情報をですね、エクスポートして、取り込んでインポートしてですね、そこから皆様にご案内を送るみたいな、そういった連携ができるので、すごく便利に使わせていただきましたって感じですね。

それではですね、ちょっと実際に画面の方見ていきたいなと思います。お待ちくださいね。

ちょっと今画面の方、共有させていただいたんですけれども。管理画面開けるとですね、こういった画面が出てきます。このボックスがですね、このフォームの設定とさせていただいたら結構です。先ほどお見せしたウェビナーのランディングページ、ここをちょっとポチッと押すとですね、行くと思うんですけど。こういったランディングページになってますね。普通のテキストと画像とかが入ってる、これは PowerPoint とか使ったんですけれども。こういったページが簡単に作成できますというところですね。ちょっと今フォームはですね、もう実際受け付け終了したので、今閉じてるんですけれども、そういった設定も簡単に管理画面から行うことができます。という感じになってまして。じゃあどうやって作られてるかって、ちょっと中見ていきたいんですけれども。ちょっとこれ本番で今動いているので、ちょっと複製して、分かりやすいタグをつけてですね、まずフォームの方を編集していただくんですけれども、編集項目出すと左がメニューで、右がここで設定していただくみたいな感じになるんですけど。基本的にはもうドラッグアンドドロップで項目を持ってきていただいて、そこで編集していただく。いろいろ設定はあるんですけど、ちょっと今日はもう時間の関係があるんで、あんまり細かいところまではやらないんですけど、こういった感じで、項目が追加できますと。こんな形で、いろんな項目追加して設定していただいて、例えば今、社名っていうのを追加したら、こんな形で反映されてますという感じになってます。これで一通りフォームの設定をしていただいてですね、もちろんフォームなので、入力画面の他に、確認画面どうしますかとか完了画面どういうメッセージ出しますかとか、いろんな細かい設定あるんですけど、そういったことももちろんできるようになってますし、あとメールの設定ですね、管理者宛メールどうしましょうかとかですね、自動配信メールとか、いろんな細かい設定できるようになっております。そういった設定をしていただいて、先ほどちょっとランディングページの設定に行くんですけれども、例えば、もう見たままに編集できるような画面になってましてですね、基本的にはコードとか書いていただく必要なくてですね、パワーポイントレベルの編集ですね、消したりとか、例えば文字を大きくしたりとかですね、基本的にはもうパワーポイントと一緒に思っていただけたらいいかなと思います。

こんな形で編集していただくという形になります。これは今出来上がってるページですのであれなんですけれども、最初はテンプレートが用意されてるので、そこに要素をはめ込んでいくみたいな形になります。そこからですね、例えば何かちょっと要素を、画像とか追加したいということであれば、こういった形で追加できますので。見出しとかも触れたりとかですね。せっかくでするので画像ちょっと入れ替えていきましょうか。いくつか用意してる画像とかもあったりしますので、そういった画像を入れていただいて、何かこう自由にレイアウト編集していただいてですね、あとは自分で持っている画像とかも入れられますので、ロゴ入れさせていただいたりとかですね。こんな形で編集してですね、これでちょっとプレビュー見ていただいて、反映されてますねっていう形で、これでもう問題なければ、ページ公開と押していただいたらもうページが公開されると。はい。こんな感じで公開されましたね。という風な簡単な構成になっておりますので、どなたでも簡単に編集していただけるかなと思います。あとはセミナーとか、よくあるんですけど、今はオンラインセミナーなんですけど、ちょっと地図とか、なんか紹介動画とか入れたいという風なこともあるかなと思いますので、例えば地図でしたら、グーグルマップ入れることができますので。できましたね。こういった形でグーグルマップも、コードとかは必要なくてですね、例えば、埼玉スタジアムとか検索していただいて、決定すると、出てきましたね。こういった形でできます。あと例えば動画も YouTube 対応してますので、YouTube とかこう入れていただいたりとかですね。YouTube の方はリンクをですね、入れていただければ、これも埼玉スタジアムの紹介動画なんですけれども、こういった形で、公開することができますと。

こんな形で簡単にランディングページの申し込みフォームというのが作れるような感じになっております。

あとですね、せっかくでするのでちょっと今日は、卸売業界の方とかもいらっしやると思いますので、金額を安いサービスではあるんですけど、ちょっとした注文フォーム機能もありましてですね、例えばデリバリー、お弁当注文とかを作ったんですけど、簡単なものであればですね、こういった形で商品登録をしてですね、個数とか、金額とかを登録してですね、簡単な注文フォームであれば作っていただくことができます。自動集計もできますので、何かこういった注文業務がある場合はですね、簡単にこういったフォームでやることも可能という感じになります。あと決済もですね、一応 PayPal 決済は対応しておりますので、オンラインで完結するような決済もできるという感じになっております。

あとですね、先ほど言った集計のところですね、例えばですね、これアンケートの集計画面なんですけれども、やはりこういった形で、今どういう風なアンケート状況になっているかっていうのを、管理画面の方から見ることもできると。リアルタイムで集計し

ていただいておりますので、こういったものを随時見ることができるという感じになっております。もちろん溜まったデータはCSVで吐き出すこともできます。

あと面白い機能としてはですね、例えばなんか、こういうオンラインセミナーとかで結構使う機能になるんですけども、投票フォーム機能というのがありますね。例えばランチ会の場所どこがいいですかっていうのを作った投票フォームがあるんですけども、即時にこのアンケート結果を参加者の方々にですね、共有させたい時とか、結構便利かなと思うんですけど、例えばこれを皆さんにご案内して、皆さんで投票していただくと結果がリアルタイムで、見えるというような、簡単なそういう投票フォームも作っていただくこともできるかなと。そういった機能もございますという感じですね。

ちょっとですね、お時間の関係で、今日はそこまではできないんですけども。ではちょっと本日のまとめになるんですけども。

業務効率化する目的ですね。コスト削減して、新規事業、企画で注力できるようになるというところですので、まずはですね、とはいえこう、手を付ける部分がどこから手をつけていか分からないといった状況もあると思いますので、こういった低予算で始められるWebフォーム化っていうところをやっていくのが、我々からするとお勧めかなという風に思っております。

で、Webフォームツールを使った業務効率化のポイント・メリットですね。データ集計、管理が自動化できるので、すごく便利ですよっていうことと、セキュアなデータ、安全なデータ管理できますので、こちらも安心ですよということと、あとは溜めたデータをですね、有効活用できると、データ連携とかができるので、結構そういったところで便利ですよっていうところですね。

そういったところでですね、皆さんに結構使っていただいておりますので、これ以外にもですね、いろんな用途あるかなと思ってます。ぜひ、身の回りですね、こういった事例、探していただいて、ちょっと活用していただけたらなと思っております。

それでは本日は短いお時間でしたけれども、ご静聴の方ありがとうございました。